

マスメディアの現状と役割と考えるシリーズ第2回

今、あらためて考える マスメディアの現況と課題

現在、マスメディア業界は「購読者や視聴者の減少」、「インターネット広告市場の拡大による収入減」などの問題に直面している。

さらに、権力による有形無形の圧力の中、その報道姿勢や内容についても多くの問題を抱えている状況があると指摘されている。

SNSの急速な拡大の中で、世の中の動きや様々な考え方のもとを提供する役目を奪われかねない状況が出てきていると感じざるを得ない。

人々が物事を考え判断するための情報提供や権力監視ということがマスメディアの本質的な役割と言われているが、現在の状況は、それらと乖離している、との指摘も多い。

既存メディアの中には、これまでの「公正・中立」のみならず、「ファクトチェック」をはじめとする新たな報道のあり方を模索する動きも出ている。

今回の憲法塾では、2024年7月に行った「第2回憲法塾～メディアを国民のものとするために～」で講師を務めた相原さんが、マスメディアが現在起こっている様々な問題にどう対処すべきか、私たちはマスメディアに

何を求めるべきか？を分りやすく
解説します。

参加費無料、申込み不要。
ご自由にお越し下さい。

ご期待下さい！

とき
ところ
講師

2026年2月19日（木）、14：30～16：00

仙台市 フォレスト仙台5階 501会議室

相原 研一さん

（みやぎ憲法九条の会世話人、マスコミを考える市民の会仙台）

主催／みやぎ憲法九条の会

連絡先：022-728-8812

メールアドレス：info@9jou.jp

ホームページ：<https://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>